



～JA事業紹介編～ まんが:じつく

第105話 ～人事教育課より～

私たち職員も学ばせていただきます



主人公の一人瀬なおさんは、現在地元の高校に通う16歳。そろそろ就職か進学か決める時期。JAに勤めている姉の話聞きながら、将来の自分を見つめます。JAの新人職員は、農作業の体験を通して組合員や地域農業を知り、職員としての自覚や日頃の業務に生かします。



JAでは職員が組合員の立場に立った対応ができるよう

入組後の3年間は農家さんの指導の下現地で農業を学びます

休憩にしましょう

花泉新 (21)

入組3年目の職員。奥の2人は同期

研修を受け入れてくれる農家さんで研修させてもらっています

JAからお願いしますと言われてね

今年は弥栄さんの牛舎で研修してですね

### 3年間の農業研修



入組1年目

水稻

水稻育苗センターで苗引き波し業務の他、農家での苗波しや田植え機に乗車しての体験もある



入組2年目

園芸

トマト・ピーマン・小菊など  
収穫や出荷調整作業



入組3年目

和牛・リンゴ

和牛への餌やりや清掃作業など  
リンゴの収穫、出荷調整作業



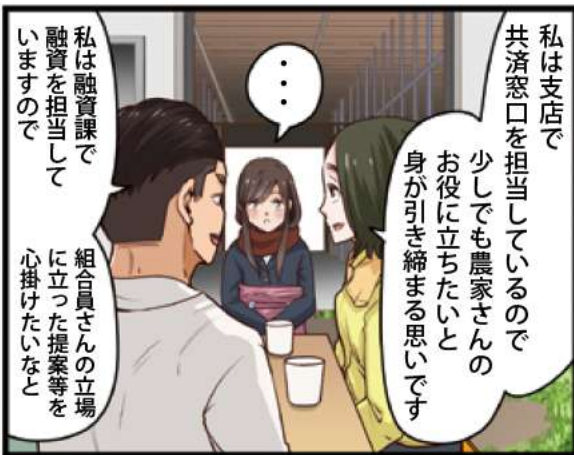
そして研修先の集落営農組織や農家さんの現場指導によって同じ目線に立たせてもらい生産の大変さや仕事へのやりがいを学ばせていただきます



直接営農に関わらない部署であっても研修で学んだことは必ず生かします!

JA職員さんが組合員さんに寄り添った考えができるのは研修の余地があるからなんだね

ガンバさね



私は支店で

共済窓口を担当しているので少しでも農家さんのお役に立ちたいと身が引き締まる思いです

私は融資課で融資を担当していますので

組合員さんの立場に立った提案等を心掛けたいなど